

## 平成22年度 大田区立馬込第三小学校 自己評価 報告書

## 1 本校の課題及び特色ある教育活動における自己評価

大項目	評価項目	評価の視点	成果・改善策	学校関係者記入欄
				コメント
	子どもたちが生き生き活動する学校	基礎学力の育成・友達となかよく活動・健康な子・体力づくり	縦割り班の活動を通して、異学年の交流や思いやりの心が育ってきている。馬三タイムや補習を通して、児童の基礎学力が定着してきた。	適切である。とても生き生きしていると思います。私もそのようにがんばっている姿を見ている。
	地域に学び、地域に生まれ、社会貢献できる子を育てる学校	地域での学習・地域の方による授業	1・2年生はお年寄りからお正月の遊び、3年生は地域の工場の方からものづくりについてや町会長から昔の馬込第三章の様子などを学んでいる。5年生は地域の方から10年続いているシクラメンの栽培を学んでいる。	地域の協力を良くえています。地域の皆様にもいつもお世話になっています。
	創造に満ち、夢と希望を育む学校	自分の考えを表現できる子・進んで学ぶ子	授業の中に、問題解決を増やして、自分の考えを持ち、発表する場で考えを広げたり、深めたりする。ただ、まだまだ自信をもって自分の考えを表現できない児童も見かけられる。	適切である。そのように感じている。スピーチ大会などやってみてはどうですか。

## 2 指導課事業における自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	評価項目	評価の視点	成果・改善策	学校関係者記入欄
				コメント
学力向上	大田区学習効果測定の結果を分析し、全教員で授業改善に取り組んでいる。	授業改善推進プランの策定、全教員による共通理解、プランに基づく授業改善の実施状況、児童・生徒の学力の向上など	効果測定の結果を各教科ごとに細かく分析して、児童の弱い点を克服できるように授業を変えていった。	良く取り組んでいると思います。校長の経営方針が良い結果につながっている。一層の努力を求めます。
	基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図る授業を行っている。	ステップ学習、繰り返し学習、放課後及び土曜日の補習教室の実施状況(回数や参加人数)、夏季補習教室の状況(回数や参加人数)など	今年度も水曜補習・土曜補習・夏季補習は全教員で実施した。土曜補習は朝と終わってから打ち合わせを行い年間の継続性を重視した。	適切である。良く取り組んでいると思います。地域の古老2・3人の話を聞く。
	小学校外国語活動の充実に努めている。	教材・教具の充実、校内研修体制、ALTとの連携など	校内研究で外国語活動を取り上げ、全学年で実施し研究授業4回研修会3回行い、研究を深めた。	教員の努力を認める。良く取り組んでいると思います。
人間力向上	規範意識向上プログラムに基づいた教育活動を推進している。	道徳全体計画・年間指導計画への位置付け、道徳の時間及び各教科等、教育活動における規範意識向上のための指導の充実、規範意識向上プログラムの授業への活用、保護者・地域への啓発など	今年度も、学校全体で規範意識向上を心掛け、「いけないことはいけない」と徹底し指導を行い、学級・学校の安定に努めた。	馬三の子供達は立派だと思えます。今までの指導をこれからも望みます。
	早寝・早起き・朝ごはんの推進を図るために家庭における基本的な生活習慣の確立を啓発している。	「早寝・早起き・朝ごはん月間」の取組、家庭への啓発など	学校で取り組んでいる食育・健康教育を保護者会や学校だよりでPRした。	浅野先生の存在が大。良く取り組んでいると思います。
一人一人に向き合う教育	定期的な教育相談を実施し、児童・生徒の心に向き合う教育を推進している。	「子どもの心サポート月間」における取組、小学校4年生から6年生までの児童・生徒に対する個人面談、夏季休業中における児童・生徒の把握、関係諸機関との連携など	サポート月間のアンケート結果を生かし、きめ細かく個人面談を行う。夏季休業中の登校日は、出席児童が多く有意義だった。	全児童への気配りが徹底していると思います。
	問題行動の未然防止及び早期発見・解決に向けて努力している。	ケース会議の実施、校内研修会の実施、児童・生徒アンケート・面談等による実態把握、スクールカウンセラーや関係諸機関との連携、問題行動対応サポートチームとの連携など	子どもの様子を日々、よく観察し問題行動に対しては、早期発見・早期治療に組織を上げて対応した。	適切である。良く取り組んでいると思います。
教員の上指導力向上	校内研究・校内研修を活性化し、教員の指導力向上に努めている。	教員の指導力向上を図るための研修、人材育成、研究授業、学校サポートチームを活用した相談・支援など	教員自身がお互いに授業を多く見合ったり、管理職の授業観察を通して、個々の授業力の向上を図った。	これも校長の方針が良い方向に向かっていると思います。
	授業改善リーダーによる公開授業への参加、指導課主催など校外で行われる各種研修会に参加し、教員の指導力の向上に努めている。	授業改善セミナーへの参加、授業改善リーダーによる公開授業への参観など	授業改善セミナーには教科主任が参加した。改善リーダーの授業への参加は少なかった。	良く取り組んでいると思います。努力を求めます。
校に地づく歩くむとり学共	相互理解と信頼をはくむ開かれた学校づくりに務めている。	週休日等における授業公開、授業における保護者・地域の方の参画、保護者・地域による授業アンケートの実施など	保護者アンケートを分析し、学校評価に生かすようにした。また、質問には保護者に返信するように努めている。	適切である。とても開かれた学校です。

自己評価の「評価」は、4:よく達成されている 3:おおむね達成されている 2:達成が不十分である 1:達成されていない の4段階で行う。

記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめる。

学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価は適切ではない C:評価のための資料が不足している D:評価は不可能である の4点で行う。